



パロー文化ホール(多治見市文化会館)リニューアルオープン記念事業

「U25」応援プロジェクト … 多治見市文化会館は25歳以下の人々の文化・芸術活動やコンサートなどの様々な文化事業への参加を応援していきます。

公演情報

まるごと1週間音楽の日inたじみ P

いろいろなジャンルの音楽が集まる!
いろいろなカタチで音楽を楽しむ!

陶都楽友協会による フレンドリーコンサート

P

陶都楽友協会の若手演奏家を中心になって盛り上げるステージなど盛りだくさんのプログラム。多治見市交響楽団の演奏も見逃せない。

日 時 3月21日(火・祝)開場13:30 開演14:00

出 演 真希、峰島佑輔、平野藍、片山博貴、長谷川美央、市原由紀子、高木峰子、植村一江、藤掛幹奈子、齊藤順子、加納徳子、多治見市交響楽団 他

曲 目 さくらさくら、威風堂々、フニクリフニクラ、アメイジンググレイス 他

料 金 全席自由 一般 1,000円 U25 500円

発売日 発売中



◀ 陶都楽友協会

ふらっとコンサート vol.47 舞台初挑戦・弦楽塾ロビーコンサート

弦楽器を真剣に学ぶ子どもたちが出演します。

日 時 3月25日(土)11:00~11:45

場 所 ホワイエ

料 金 入場無料・申込不要

公演について

※表記のない場合、場所は大ホール

※表記のない場合、未就学児の同伴・入場不可

※車いす席をご希望の方はお問い合わせください

※チケット発売初日はインターネット7:00~

電話予約9:00~開始 ※発売初日の窓口販売は行いません

※ P マークの公演は、駅北立体駐車場の2時間無料サービスがあります

PUENTE キッズコンサート

ピアノ・マリンバ・パーカッションで結成される
プエンテが、子どもたちに音楽の楽しさを広げます。

日 時 3月25日(土)

①13:00~13:45 ②14:15~15:00

場 所 大会議室

出 演 ピアノ:中垣友希 マリンバ:間野英里
パーカッション:中村 新

料 金 入場無料・要整理券 ※配布中



◀ PUENTE

世界の楽器博物館

かつてながせ商店街にあった楽器店「soft」の店主・故土屋明弘氏が収集した世界各国の民族楽器を紹介します。実際に手に触れて鳴らすこともできます。25日には、打楽器アンサンブルViciicによるワークショップや楽器解説も開催します。

日 時 3月19日(日)~25日(土)10:00~16:00

場 所 展示室

料 金 入場無料・申込不要

打楽器アンサンブルViciic ミニ演奏会

日 時 3月25日(土)

①12:15~12:45 ②13:30~14:00

料 金 入場無料・申込不要

お知らせ

●令和6年3月使用の予約調整日 令和5年3月1日(水)9:00~

●令和6年3月の休館日、使用できない日

【休館日】5、12、19、26日

【使用できない日】全館:20、23、24、30日 大ホール:31日

※最新の施設予約可能状況はホームページをご覧ください



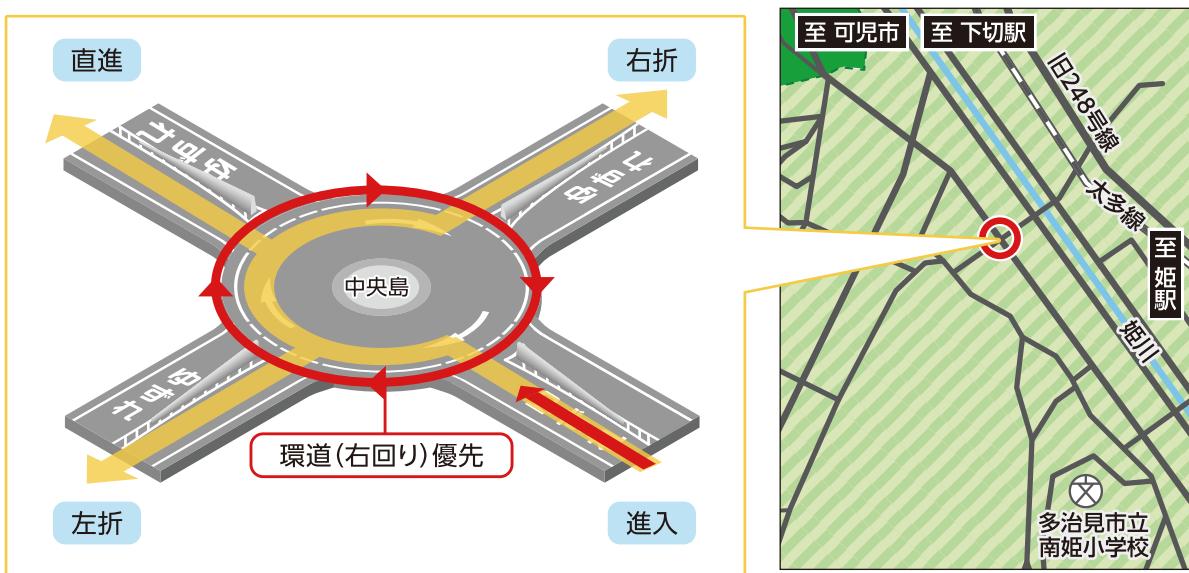
知っていますか？ ラウンドアバウト（環状交差点）の通り方

令和5年4月から多治見市初の運用が開始されます。

問 道路河川課 鈴木、志村 ☎22-1111(内 1362)

ラウンドアバウト（環状交差点）とは？

- ・交差点の一種で、信号を必要としない。
- ・環道に沿って右回り一方通行で進入する。(1車線)
- ・環道が優先。通行車両がいなければ、一時停止なしで進入可。(徐行)
- ・全国の40都道府県、140カ所で整備 (令和4年3月現在)



ラウンドアバウトの通過方法



- ・道路左側に寄って、徐行で進入。右から来る車に注意する。(環道優先)
- ・時計回りで通行し、出口では左ウインカーを出す。

ラウンドアバウトのメリット

- ・事故の抑制…速度抑制、交錯点減少
- ・待ち時間解消…信号待ちがない
- ・CO2削減…信号制御の電力不要
- ・災害に強い…電力がなくても機能を維持

多治見市食生活改善推進員協議会40周年 「私達の健康は私達の手で」

多治見市食生活改善推進員協議会（以下、食改協）は「私達の健康は私達の手で」をスローガンに、「お隣さん・お向かいさん」をはじめ、多治見市民が心身ともに健康な生活ができるように、行政と共に活動をしています。食改協は設立40周年を迎え、令和4年12月2日、産業文化センターで記念式典を開催しました。食改協では、10支部83人の会員（令和4年度）が支部ごとにさまざまな活動を行っています。令和4年度は、グリーンフェスタで野菜料理の展示や野菜レシピの配布、野菜アンケートを実施しました。地域の公民館まつりでは、各支部の会員が野菜350g摂取の推進と、減塩の必要性について周知・啓発を行いました。



△長江 弓子 会長

こんな活動をしています



令和4年総会の様子



令和4年楽市楽座で
野菜アンケート実施の様子



令和4年グリーンフェスタで
野菜料理展示とレシピ配布の様子



40周年記念レシピ集
作成の調理風景



令和4年視察研修食育センターにて
学校給食試食の様子



公民館まつりで野菜
350g摂取啓発の展示

食生活改善推進員を募集しています

毎年、食生活改善推進員になる養成講座を7回コースで行っています。養成講座に参加して、自分や家族の食生活、地域の健康づくりと一緒に考えてみませんか？

随時、仲間になっていただける方を募集しています。

問 保健センター 続木 ☎ 23-5025

40周年記念

先着150人

レシピ集配布します！

ご希望の方は保健センター窓口にお越し下さい。

配布期間

令和5年2月1日～3月31日まで
※なくなり次第終了

食改協の伝承料理が満載です





やきものの入門 -多治見の近世編-

今回の企画展は、令和2年に開催した「やきもの入門 -多治見の古代中世編-」に続く、「やきもの入門」第2弾です。本企画展では近世編として、江戸時代に多治見や周辺地域でつくられたやきものを紹介します。

江戸時代になると、それまでの窯窯や大窯より熱効率と量産性に長けた連房式登り窯が九州から伝わり、織部や御深井などの優れた陶器が生産されます。その後、江戸時代中期には茶道具に加え徳利などの日常雑器が大量に作られ、茶陶を中心に生産していた江戸時代初期までとは大きく変化しました。鉄釉の茶碗や徳利、掛け分けをした鎧手茶碗や御深井釉製品が多く作られ、色絵製品も登場します。さらに江戸時代後期には磁器の製法が瀬戸から伝えられ、市之倉などいち早く作られます。陶器よりも固く焼締まり、緻密な素地である炻器染付製品は、

当時まだ高価であった磁器製品と比べて安価で、江戸などの都市の周辺地域にも広く普及していきました。

連房式登り窯によって大量に生産されたこれらのやきものは、陶器商によって日本各地へと輸送されていきます。西浦家は、多治見を代表する陶器商のひとつで、当時多治見村で「西浦屋」という屋号でやきもの販売を行っていました。また西浦屋は大坂と江戸に出店し、多治見村の本店とともに中央市場へも参入しています。こうした美濃焼の販売ルートの確立や、炻器・磁器づくりの技術が、明治時代以降の海外向け製品を生み出す土台となりました。

文化財保護センターで企画展「やきものの入門 -多治見の近世編-」を開催します。(2月6日(月)~6月23日(金)※土日祝休み。ただし3月11日(土)と6月4日(日)は開館)



さびゆうほていとっくり
鎧釉布袋徳利 ▶



青と緑の物語 ~土岐川観察館の自然だより~

土岐川で減ってきてる生き物

土岐川の多治見市街地区間では、さまざまな魚類などの水棲生物が棲息しています。長く土岐川に関わっていると、「昔は○○がいた」など多くの話を聞く事もありますし、実感する事もあります。

近年土岐川の河床環境は、毎年目まぐるしく変化していますがこの事により棲息が困難になってしまったと思われる生き物がいます。

魚類では、ドンコ(写真①)と呼ばれるハゼの仲間で岐阜県のレッドデータブックで準絶滅危惧に指定される魚です。ドンコは、魚や水棲昆虫などの動く生き物を食べ、大きな石の下や草の下などに日中は隠れて生活する夜行性の魚ですが、土岐川にこのような環境の河床が減っています。大きな石は、出水や工事により流されてきた土砂で埋まってしまい、河床が掘れた事により岸の草は水から出てしまったりと、ドンコの好む棲息環境が減ってしまっているのが原因だと思われます。

同じように減った生き物はモクズガニで、棲息環境もドンコと同じような場所を好みます。大きくなると、海へ下り産卵を行い産まれた子ガニが川を上がってくるというサイクルで棲息しています。大きさは、甲幅が7~8センチと大型になり、上海ガニの同属異種に



①土岐川観察館
飼育のドンコ



②捕獲された
モクズガニの1部

あたり、食用としても人気なカニです。2000年頃までは土岐川の至る所でカニ籠を使って捕まえられましたが、現在では見る事はありません。捕獲数が減ったからなのか、捕獲する方が高齢になったからなのかは不明ですが、2021年に実験した所、やはり捕獲する事はできませんでした。

しかし2022年に愛知県と岐阜県との県境の土岐川で調査を行った際は、348杯ものモクズガニが捕獲できたことから、土岐川にはモクズガニがたくさんいるが土岐川の多治見市街地区間の河床環境変化によって、居つかなくなってしまったと考えられます。

他にも環境変化によって確認数が減った生物がいると思われますが、さらに増えていく可能性も秘めていると思うので、さらに土岐川を観察していくかなければなりません。

(土岐川観察館 山本 真行)



4月より初期臨床研修医として勤務しております、加藤麻菜美と申します。私は多治見市のある春日井市出身です。祖母が多治見市出身で、母は多治見市民病院で生まれているということもあり、思い出話などを聞いて多治見市を身近に感じておりました。そのような関わりのある病院で研修できることを感慨深く思います。

昨年の春、愛知医科大学医学部を卒業し、幼いころからの夢であった医師としてのスタートラインに立てたことを大変嬉しく思うとともに、医療に携わる専門職として病院という現場に立つ事に、少なからず不安と緊張を感じてきました。時が経つのは早いもので、あと2ヶ月ほどで1年が経とうとしております。

これまで診療に携わらせていただく中で、学生時代にはそれぞれの病気ごとの治療法について学んできましたが、実際には同じ病気でも患者さんごとに気にしていることや不安に感じていることが違うということを実感いたしました。日々の診療の中で患者さんの思いを引き出し、それにあった治療ができるように心がけ、1日でも早く地域の方々に信頼と安心感を

多治見市民病院 初期臨床研修医
加藤 麻菜美 Manami Kato



得ていただくことのできる医療人へと成長できるよう、努力していく所存です。

まだまだ力不足を感じることも多いですが、今井病院長をはじめ、諸先生方、看護師の方々や医療スタッフの方々からご指導いただきながら、医療者として必要となる様々な事柄を、同期の仲間とともに日々学んでおります。

近年は医療をとりまく環境が大きく変化しようとしています。しかし、医療人と患者さんとの信頼関係は、今もこれからも変わらないと思います。当院の基本理念である「病める人に優しい医療」の一助となり、絶えず自己研鑽に心がけ、一人一人の患者さんに最適な医療を提供できるよう日々精進してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



時代をつむぐ男と女

「らしさ」ってなんだろう

「ブラック校則」という言葉を聞いたことがありますか。これは、一般的な常識とはかけ離れた不合理な校則を指す言葉です。過度に「学生らしさ」を求めた結果なのか内容がエスカレートし、地毛が茶色い人の髪を黒く染めさせるなど、人権を侵害しかねない場合があり、行き過ぎた内容を解消しようとする動きが各地でおこっています。これは極端な例かもしれません、「〇〇らしさ」を決めつけ、押し付ける、という事は、身近なところでも見られることがあります。

昨年度実施した「男女共同参画に関する市民意識調査」で、家庭における役割がつらいと回答した男性が約2割もいました。「仕事の責任が大きい、仕事ができて当たり前だと言われる」、「男だから頑張れと言われる」、「妻子を養うのは男の責任だと言われる」ことをつらいと感じており、男性への期待が男性の生きづらさを生んでいることが垣間見えます。

「男らしい」、「女らしい」という表現は、その人の人柄や容姿などの魅力を表している場合もあり、否定するものではありません。でも、「男だから、弱音を吐くな」とか、「女なんだから、でしゃばるな」など、

問 くらし人権課 遠藤 ☎ 22-1128
E-MAIL kurashi-jinken@city.tajimi.lg.jp

「男らしさ」「女らしさ」を押し付けられると、息苦しさやプレッシャーを感じてしまう人も少なからずいます。

「〇〇らしさ」がその人の役割や在り方を縛るのではなく、「その人らしさ」「自分らしさ」を尊重し認め合える、誰もが過ごしやすい社会になることが男女共同参画社会の実現につながると思います。「〇〇らしさ」で決めつけていないか、誰かを傷つけていないか、自分を追い込んでいないか、一度考えてみませんか。

☆「男らしさ」についてのお話から、男女共同参画について考える講演会を開催しますので、ぜひご参加ください。

令和4年度 男女共同参画講演会

「男らしさ」ってなんだろう?

-自分も周りも尊重するために-

かわぐちりょう

川口遼 氏

(名古屋大学ジェンダーダイバーシティセンター特任助教)

日時

令和5年2月15日(水) 14:00~15:30

会場

バロー文化ホール2階大会議室

申込

電話またはメールで、氏名、住所、連絡先をくらし人権課へ(2/8(水))を大切としておりますが、席が空いている場合もありますのでお問い合わせください。)

詳しくは
こちらから



素敵なまちで輝く
素敵なひとたち

MY TOWN HOT NEWS

SNAP at TAJIMI-2022



日没から
23:00まで
点灯!



*

※イルミネーションは令和5年2月12日(日)まで



12月4日(日)
虎渓用水広場
イルミネーション
点灯式開催



11月27日(日)
多治見市ママさんバレー連盟
創立50周年記念式典開催



11月28日(月)
市へ陶製オブジェを寄贈した
美濃陶芸協会に感謝状贈呈



12月16日(金)
JICAボランティア派遣
2年間、コスタリカで卓球支援をする、
西岡昌彦さん



12月20日(火)
令和4年度
日本スポーツ少年団
顕彰を受賞した、
三輪康夫さん



12月4日(日)
セラミックパークMINOで、
第15回たじみ子育て楽市を開催



マイタウンホットニュースは
ホームページで公開しています



12月20日(火)
第8回全日本少年少女
空手道選手権大会
ジュニア空手
リアルチャンピオンシップ出場



12月6日(火)
高円宮妃杯JFA第27回
全日本U-15女子サッカー選手権大会出場



12月19日(月)
2022ゼット旗争奪
リトルリーグ野球
西日本大会出場優勝報告



12月15日(木)
ねんりんピックかながわ2022
ソフトテニス交流大会準優勝報告

pick up!

地産地消と食育推進

市内農産物を学校給食へ～食の安全安心を学ぶ～

11月28日(月)、小泉小学校 5年生クラスで、北小木町で大豆などを生産している「ほたるファーム」の寺西正憲さんから、食の安全・安心のために行っている取り組みなどについて話を聞く、社会科の授業が行われました。子どもたちは身近な生産者から自然農法での生産について話を聞き、収穫した豆に実際に触れ、試食することで食の安全・安心を学びました。



地産地消は、子どもたちの食に関する興味関心を高め、地元への愛着や、食に関わる人への感謝の気持ちを育むことにつながります。



学校給食に関する問い合わせ

問 食育推進課 ☎ 29-1662



たじみ 環境フェア 2023

広げよう ~自然とエコのまち 多治見~

日時

2月 19日 日 9:30~15:30



うながつぱ
道風くんが
来るよ!

問 環境課 保全グループ ☎22-1175

※催事内容は新型コロナウイルス等の影響により
予告なく変更することがありますので、ご了承ください。



場所

ヤマカまなびパーク

市内で環境活動をする市民団体を中心となって、多治見市の環境について考えるイベントです。体験コーナーやスタンプラリーなど、楽しい催しも盛りだくさん！

わくわく体験コーナー

1階

★おもちゃのリユース広場 先着順
おもちゃが無料でもらえるよ

★おもちゃ修理の体験&おもちゃ病院受付
こわれたり動かなくなったりしたおもちゃを持ってきてね

★お花を使った工作体験 先着順
押し花のしおりやコースターをつくろう

6階

★リサイクルクラフト
牛乳パックを使って楽しく工作をしよう

★ペットボトルのキャップを使って遊ぼう
ペットボトルのキャップでオセロやカーリングなどのゲームで遊ぼう

★ヒノキとスギでオリジナル工作体験
森の間伐材でマイ箸をつくろう

★環境カードゲーム
カードゲームで環境について楽しく学ぼう

★オリジナルバードコールをつくろう 先着順
間伐材を使ったバードコール(鳥笛)づくりにチャレンジ！

★里山工作教室 先着順
竹を使った遊び道具やマスコットをつくってみよう

★大きな松ぼっくりツリーをつくろう 先着順
小さなお子様でも楽しんで工作ができます

環境活動発表会

時間 10:00~12:00 場所 5階学習室501

小中学生や高校生などが環境活動について発表します

- たじみエコカレッジ「ジュニアコース」受講生
- 小中学生による自由研究発表
- 多治見西高等学校
- 岐阜県立森林文化アカデミー
玉木一郎先生



子ども環境作品展

1階 ★児童・生徒のみなさんの
エコ作品・エコ研究が大集合！

展示コーナー

1階 ★出張土岐川水族館
★たじみ風景絵画
コンクール
2022展覧会



6階 ★ぼると多治見
SDGsから環境を考える
★多治見砂防国道事務所
土石流模型実験

7階 ★団体・企業・学校の環境活動紹介パネル
自然、エネルギー、ごみなど…いろいろな
ことが分かるよ。パネルを見て、学んで、
クイズに挑戦しよう！

